

白馬だより

泉州労山 鈴木 均

長い長い冬がようやく終わって、待ちに待った春が来た。今シーズンは雪が多かった。1月中旬からしばらくは、もうやめてくれと言いたかった。

家の周りにはまだ残雪が少しあるが、1週間くらい前、解けたところから黄緑色の蔦のとうが芽を出しはじめ、玄関付近では野生のカタクリも咲き始めて淡い紫色が太陽に輝いている。黄金色の福寿草は標高が少し低い国道周辺の空き地で群生している。冬のモノトーンから一変して春の自然はカラフルだ。桜は今年もGWころだろうか。

暖かい日と冷える日が交互に繰り返しながら、少しずつ平均気温が上がってくる。岩壁が全くというほど見えぬ真っ白だった白馬三山も一気に岩が見え始めてきた。それでもこの3月は気温が上がらず山の雪は多い。

猿倉に繋がる二股のゲートは毎年GW直前まで開かないが、15日には、富山と大町を結ぶアルペンルートも開通し、上高地へも入れるようになった。扇沢までの開通は数日早いので、大町労山の会員が針ノ木まで山スキーに行ったが、結構スキー・登山者がいたようだ。デブリがかなり多かったらしい。

慣れたとはいえ薪ストーブは石油ストーブのようにはすぐに着火しないが、バチバチという音を立てながら赤々と燃える薪の炎は見ているだけで気持ちが温くなる。

4月12日唐松岳をめざしたが強風でリフトは動かず、ウサギ平からスキーで下山したがゴンドラ下の駅まで滑り降りることができた。県警の春山情報では、残雪は平年並みとのことだが、後立山で見ると限り平年より少し多いのではないかという気がする。

2月、3月は近郊でのスノーシュー登山を含め、いくつか雪山に登ったが、4月は様々な事情であまり行けなかった。いよいよゴールデンウィークが近づき、春山シーズンだ。
4/20
記



家の玄関付近に咲き出したカタクリ
(わかりにくいですが、バックの白いのは残雪)